



調布市議会議員、大河みとこの議員活動レポートです。市民と市政の架け橋となるべく奮闘中です。是非お読み下さい。

元気派市民 大河みとこの市議会レポート

3月議会

みみチャンネル

NO.40

2003年 春号

元気派市民とみとこの会

〒182-0011

調布市深大寺北町1-31-1

Tel&Fax 0424-88-4137

http://www.ops.dti.ne.jp/genkiha/



調布市議会議員 大河みとこ

国内外そして市財政の現状からすれば、私は市民の皆さんの耳に心地よい提案ばかりはできません。今は、ばらまきや個別要望対応型の政策をやめて、借金を増やさない努力・工夫をしながら、計画を見直し、時には我慢もして、まちの体質改善を図る時です。未来を担う子どもたちにツケを残してはいけません。税金の有効利用と健全財政のために、私は厳しく財政をチェックし続けます。そして行政と市民が情報を分かち合い、「より暮らしやすいまち・調布」を共につくって行けるよう、政党の利益や政略にとらわれない無所属議員の真価を発揮して具体的な提案をしていきます。

私たちのまちのことは私たちが決めたい!!
**政党にしばられず、
市民の常識を貫きます**

一歩進んだ調布のまちづくりのために

市民参加から

市民参画へ

実績・都市計画や介護保険などで市民参加を推進。

提案・市民の声が届く市政実現のために市民参加推進条例など基本になる仕組みを提案します。

情報公開から

情報共有へ

実績・土地開発公社の決算開示と、決算の早期化を実現。

提案・計画段階から市民と行政が情報共有できるように情報提供ガイドラインを提案します。

財政の監視から

**チェックと
提案**へ

実績・公共工事の高い落札率を指摘、入札改革を推進。

提案・市民のために税金が有効に使われているのかを徹底的にチェック。
・企業会計的手法を導入。行政にコスト意識を徹底。市民が参画できる政策評価を提案します。



とことん無所属!
これからも、調布市政を厳しくチェックしていきます。

大河みとこのプロフィール

市川房枝政治参画センターでの学習を生かしてクリーンな市民選挙を実行し、1995年に調布市議会議員(無所属・一人会派「元気派市民の会」となる。

特に、市民参画・情報公開の推進と財政問題に積極的に取り組んでいる。

建設・文教・厚生委員・環境保全審議会委員などを歴任、現在2期目。

*長野県小海町生まれ(1954年)

*夫、娘2人、義母、愛犬と深大寺北町在住
調布市民歴23年

*国際公会計学会会員・自治体学会会員・議員政策研究会会員

主なユース
代表質問 市長公約に反した「あれもこれも」のばらまき予算を懸念・・・P2
議会レポート 不況の中、借金と基金の取崩しで1.2%のプラス予算・P3
元気派ひろば 元気派市民とみとこの会8年間を振り返って・・・P4

もうすぐ桜前線が調布に。地域企業の好意で行われていた野川の桜のライトアップ、今年中止のはずが住民の声に応え、企業と市民協働の美しいライトアップが予定されています。すごい！（みとこ）

元気派市民の会の 代表質問（要旨）

今は「あれかこれか」の取捨選択のとき、「あれもこれも」のばらまき予算を懸念

向上という本質からの公平性、客観性等が問われる。調布市は都市部のベッドタウンでサラリーマン層が多いが、その納税者のニーズを的確に把握すべき。安定財政は自治体の基本。公約の実現を求める立場から質問した。

厳しい財政下、市政に求められるのは市民の「暮らし」優先政策であり、

賭けのような不確かな景気対策ではない。十五年度予算は、市税の減収にも拘わらず事業の見直しを先送りし、貯金の取り崩しと借金をし、補助を要する新規事業を実現するプラス予算となった。予算とは市民との公約の具体的な内訳。市長公約は「ムダ、無理な箱物行政の見直しと健全財政の確立」であるのに、今予算のばらまきの個別対応は場当たりだ。将来の負担の公平性という手法も見直すべきで、子ども世代にツケを残さないことが原則。

市長公約の「暮らしを大切にすることを「ちづくり」とその経済的展望を問うデフレが続く今、中期的経済環境を市長はどう認識しているか。

その環境において市政に対する市民の期待をどう認識するか。

行政の取り組みが「景気浮揚対策の起爆剤になる」と信じる根拠と、この施策展開の目標は何か。

【市長答弁】 まさに不透明。楽観視できない。景気対策と安心感を持てる暮らし。社会の閉塞感を払拭したい。事務事業評価を踏まえ見直し、財源確保策を検討する。

市民の視点に立ち、質の高い経営を目指してデフレ化における行財政改革の展開を要望

すべきかどうか検討し、不要不急なものを見直して新事業を実現すべき。予算での新たな支出は、住民の福祉



当金としてあるが、「市の借金」をどう認識しているか。

後年度負担を残す経常経費は、昨年よりもいくら増えたか。

市民の声を反映する仕組みも含め、財政健全化計画への取り組みの現況は。市長提唱の「コスト意識」は、職員にいかんにか反映され機能しているか。

「成果重視の行財政運営に外部評価を取り入れる」と述べているが、そこに市民の視点はどうかされるか。

【市長答弁】 一般家庭に借金があるように、地方債の借り入れも通常の経済活動

約十億円。健全性維持に努める。中心市街地活性化、優良企業の誘致、

（NHK大河ドラマを当て込んだ）「新撰組」関連の事業を通して、「コスト意識の浸透を図る。有識者など外部の意見を聞き、市民の視点の生かし方を検討。

まちづくり施策への提案

市民がより主体的に行動し「新しい公共」を機能させるために、「市民参加推進条例」を提案。市民参画が実践されていた旧大町小の跡地活用について、市の現在の認識を問う。

ごみ処理や国領北口再開発事業等の案

件は、計画段階から行政と市民が等しく情報を共有し、市民理解を得ながら進めるべき。情報公開から情報共有へと推進させる「情報提供ガイドライン」を提案。

既存の地域資源と市民力を生かした「一歩進んだ調布のまちづくり」を提案し、市の見解を求める。

生活関連施策である福祉・環境政策への提案。子どもや地域の目線で当事者が真に望む施策を求める。学童的機能も付加される第一小学校ユーフォー事業で、校舎北側にプレハブを計画。子どもの健康・安全面から再検討が必要。自然環境保全にはトラスト制度等を活用し適時予算執行する姿勢を望む。

【市長答弁】 自由に意見を出し合い、共にまちづくりを進める仕組みづくりが急務。旧大町小は計画期間中の暫定利用及び検討継続。答弁なし

福祉・健康政策には市民との協働・連携が重要。市民活動の実態把握と連携の在り方を研究し施策展開。ユーフォー事業は教室に余裕がなくプレハブ設置もやむを得ない。自然環境保全は市に合った制度を研究。

みとこの議会レポート

不況の時代、場当たり政策は子どもにもツケを残すだけ。
事業見直しと財政再建を優先して！

平成十五年
調布市議会第一回定例会
三月三日～二十日（十八日間）

厳しい財政状況下、借金と基金の取り崩しで1.2%のプラス予算六百四十九億円が可決される！
平成十五年一般会計予算について
（賛成多数で可決）



元氣派市民の会・反対
十五年予算は大きくは次の三点のために歳入が大幅に不足した。
京王線立体交差事業と平行した大型開発事業の継続
事業の見直しの先送り

個別要望への総花的予算付け
その結果、市の貯金とも言いつべき財政調整基金七億円を取り崩し、臨時財政対策債を十五億円借り入れて財源確保した。市長公約の「開発優先・箱



物行政の見直し、市財政を大胆に改革し健全財政を目指すなら、長期的展望に立ち、公平に優先順位をつけ、事業実施の根拠が明確な予算を提示し市民に問うべきだった。今、優先すべきは安定財政。借金してまでするべきでない事業も多く、「市民の血税を有効に使う欲しい」「将来に大きなツケを残す無用な借金を抱え込みたくない」という立場から十五年予算に反対した。

総務費「国領北口再開発ビル」は二千二百五十㎡命新規公共施設。市民活動支援・産業支援・男女共同参画の各センター等を配置予定。計画段階からの情報公開や市民参加も不十分。予算審議で施設運営コストが把握されて

臨時財政対策債とは
地方財政の財源不足を補てんするために13年度から15年度までの間に認められた借入金。交付団体は後に交付税で補てんされるが、不交付団体である調布市にとっては全額借金となる。

いなかった。「新撰組」関連の事業に観光促進費として七千万円をつけたが、借金してまで行う事業かどうか疑問。

民生費「多くの子育て支援事業は歓迎するが、所得制限を撤廃した乳幼児医療の一律助成は一見公平に見えて、ばらまきであり課題を残す。所得層や対象年齢等の調査を慎重に行い、子育て支援に今何が求められているかを的確にとらえることが大切。見直すべき事業を見直して財源を確保し、きめ細やかな具体的な対応に当てるべき。」

衛生費「最終処分地に搬入するごみの量を減らす努力は私たちの義務。ごみ処理場建設問題は、全市民の重要課題。適地選定には市民合意のための市の誠意ある取り組みを要望。」

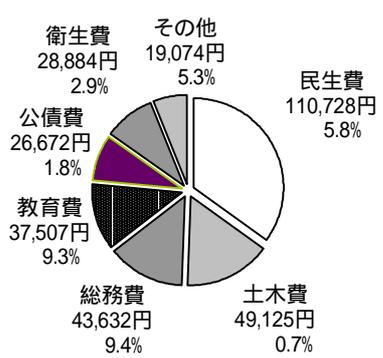
教育費「教育環境整備の充実をはかる事業の優先順位の基本的考え方を明確にすること、子どもの心のケア等を優先するよう要望。シックハウス対策については、予算の裏付けが不十分。環境基準の基本方針の明確化も要望。」

土木費「京王線立交事業に関連するまちづくりの計画への予算が多い点に疑問。産業振興のための住宅リフォーム補助は、公平感を欠く政策と指摘。」

平成十五年の一人当たり予算額と前年度比

収入は減、支出は増。不足分は借金！

グラフからはわかりませんが、商工費等の急激な増加が気になります。全体的には毎年必要となる扶助費などの経費の伸び、これを支える市税の減少が問題です。



歳出合計 315,623円

春先は花粉症で、鼻と目のかゆみで目が覚める。窓も開けられず、布団も干せない悲惨な時期です。気分転換にと、かわいいマスクを友人から薦められ、目下愛用中。(みとこ)

議会最終日の二十日、アメリカはイラクへの武力攻撃を開始しました。世界平和を求める市民の声を届けるために即時停戦を求める緊急決議に祈るような気持ちで賛成しました。(みとこ)

みとこの活動日誌



- 1月 5 愛知県西尾市議(鈴木規子)応援
- 6 都予算学習会参加
- 7 新春市民のつどい
青年会議所賀詞交換会
- 8 NPO調布まちづくりの会例会
- 13 成人式
- 22 幹事会・幹事長会
- 26 元気派市民のつどい
- 28 青少年交流会館開所式
ごみ懇談会傍聴
- 31 市民参加プログラム
- 2月 5 NPO調布まちづくりの会例会
- 6 武蔵境通り住民協議会打合せ
- 7 幹事長会
実施計画説明の為の全員協議会
- 8 ちょうふ環境市民懇談会
- 10 都市整備協議会
- 13 幹事長会・議員研修会
- 16 武蔵境通り住民協議会
- 17 ごみ問題に対する実施計画説明の
為の全員協議会・幹事会
- 18 文教委員会
- 19 幹事長会・予算内示回
- 20 元気派ミーティング(議会報告会)
- 21 幹事会・幹事長会
- 27 議会運営委員会
- 28 立候補者説明会
- 3月3-20 3月議会開会

調布市議会議員選挙の投票日は4月27日(日)

このまちをつくるのは、ここで暮らすあなた。
「投票」というあなたの権利を生かして下さい。

元気派市民とみとこの会 8年間を振り返って

自分たちの声をまちづくりに生かしたいと願い1994年に発会、翌95年には大河みとこを議会に送り出し、常に議会に市民の視点が活かされるように努めてきました。

会報 みみチャンネル

年4回の市議会の内容を、タイムリーに伝えてきました。特集ページでは、福祉、教育、文化などの時の課題について発信し続けました。本号で40号、これからもアンテナの感度を上げて臨みます。



ホームページ

みみチャンネルの電子版をはじめ、市議会や当会の活動についての最新情報をお届けしています。(1998年7月～) <http://www.ops.dti.ne.jp/genkiha/>



学習会

新しい施策、法律、制度、動向など、いち早くキャッチして専門の講師を招き学習会を開催。特に力を入れたのは、高齢者福祉(19回)、介護保険(実施の2年前から昨年までに7回)、その他に年金制度や成年後見制度、NPO法、ごみ問題など。また、近年では教育関連の学習会(6回)を開催し、こどもの人権教育プログラム「CAP」を積極的に紹介してきました。

元気派ミーティング(議会報告会)

年4回の市議会の終了後、大河議員を囲み、座談会の形式で開催。市議会の報告だけでなく、広く意見交換をする場でもあります。2003年春で45回を数えました。



上記の他にも、リサイクル品のバザー、リース作り等の手工芸の講座、公共施設の見学会などを行いました。すべての場、機会において、多くの市民の方々と語り合いと情報交換が、何よりも私たちの活動の推進力となりました。これからもどうぞよろしく願いいたします。

元気派ミーティング (議会報告会) 4月8日(金)

午後7時～8時30分
深大寺地域福祉センター



お気軽にお立ち寄り
下さい。

元気派市民とみとこの会会員大募集!

当会は市民による調布のまちづくりを目指して活動しています。みなさんも当会に入会して、これからもずっと住み続けたいまち・調布にしていきましょう。



会費(年)一口1,000円 何口でも結構です!
会費及びカンパは郵便振替にても受け付けております。
口座番号 00180-5-577951
「元気派市民とみとこの会」

編集後記

責任ある意思表示と愛ある行動を心がけたいな。(ちえみ)
「目には目を!!」では平和はない。(ちはる)
昨年は手にできなかった息子の大
学合格通知。いい響きです。「合
格」って、「当選」も。(まさこ)
任期最後まで市民派無所属議員
として発言できた。それにしても
今議会は「政治って何」と疑
いたくなるような瞬間を多々経
験しました。(みとこ)